

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	2-2403
研究課題名	衛星観測データによる大規模排出源からの二酸化炭素排出量推定モデルの開発と定量的精度評価
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	東京大学
研究代表者名	今須良一

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

本研究は、大規模排出源や都市部からの二酸化炭素排出量の定量評価のために、GOSAT-GWなどの衛星観測データを入力とした二酸化炭素排出量推定システムを開発することを目的としており、その分析手法を確立できれば網羅的かつ迅速に二酸化炭素排出量を把握する仕組みがもたらされる。革新的なモデル開発を通じて衛星データを政策展開につなげる本研究は、学術的に極めて意義がある。口頭発表、ポスター発表、論文投稿、公表・報道、国際共同研究などが精力的に実施されている点が評価できる。ただ、資機材の納入遅れによる研究計画の変更など、ロジスティックな点のマネジメントには留意が必要である。衛星からの地域のCO₂濃度分布の推定手法は、日本だけでなく途上国を含むアジア太平洋地域における都市部などへの応用が期待される。各サブテーマとも計画にそった成果が得られており、今後は、各サブシステムが全体として有機的に機能し、実用に供し得るシステムとして完成し、最終的な開発目的が達成されることを期待する。